

令和 3 年 度

石狩市教育委員会会議（7月定例会）議案

石 狩 市 教 育 委 員 会

日 程

日 時 令和3年7月27日(火) 午後1時30分

場 所 市役所本庁舎 市議会第2委員会室

日程第1 署名委員の指名

日程第2 議案第1号 石狩市立学校における働き方改革推進計画(第2期)について
議案第2号 令和3年度石狩市奨学生の決定について【非公開】

日程第3 教育長報告

日程第4 協議事項

教育委員会の点検・評価について(令和2年度実施分)(継続協議)
市立学校における校則の見直しについて

日程第5 報告事項

第三期石狩市教育委員会特定事業主行動計画の取組状況について

日程第6 その他

日程第7 次回定例会の開催について

令和3年 8月 日() 時 分開催

議案第 1 号

石狩市立学校における働き方改革推進計画（第 2 期）について

令和 3 年 7 月 27 日提出

教育長 佐々木 隆 哉

このことについて、別紙のとおり決定したいので、石狩市教育委員会事務委任規則（平成 3 年教育委員会規則第 13 号）第 1 条第 1 号の規定に基づき議決を求める。

教育長報告
(教育委員会事務局の主な動き)

令和3年7月27日
教育委員会会議提出

6月30日(水)	「令和3年第2回市議会定例会(最終日)」	本会議場
	「市新型コロナウイルス感染症対策本部会議」	一部オンライン開催
7月2日(金)	「令和3年度第1回予算要望委員会」	オンライン会議
4日(日)	「石狩青年会議所『音楽でつながる未来～共生社会の実現に向けて』」	花川北コミセン
6日(火)	「石狩市校長会役員会」	402会議室
	「市教委学校訪問3日目(石狩八幡小、生振小)」	
7日(水)	「令和3年度石狩市奨学審議委員会」	201会議室
	「市教委学校訪問4日目(紅南小)」	
8日(木)	「定例校長会議(7月)」	401・402会議室
12日(月)	「市教委学校訪問5日目(花川北中、双葉小)」	
13日(火)	「夏の交通安全運動街頭啓発」	市役所前広場
	「定例教頭会議(7月)」	401・402会議室
14日(水)	「(株)北海道教科書供給所から創業100周年記念寄附金受贈式」	庁議室
15日(木)	「市教委学校訪問6日目(石狩中、緑苑台小)」	
	「教育委員会事務局管理職会議」	庁議室
16日(金)	「管内中体連大会優勝報告(女子砲丸投げ)」	浜益中学校
	「石教研・石教振学校課題研究発表会」	浜益小学校
19日(月)	「市教委学校訪問7日目(厚田学園)」	
20日(火)	「市教委学校訪問8日目(花川南中、花川南小)」	
	「教育委員勉強会」	第二委員会室
21日(水)	「史跡庄内藩ハマシケ陣屋跡大手門竣工式」	ハマシケ陣屋跡
26日(月)	「令和3年度第2回公立高校配置計画地域別検討協議会」	オンライン会議
27日(火)	「教育委員会会議7月定例会」	第二委員会室

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針 1	新しい社会で生きる力の育成				
施策 1	確かな学力の育成				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	学校改善の推進	—	A	指導主事	
(2)	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	—	A	指導主事	
(3)	定着を一層確かにする工夫「1校1プラン(学力充実)」の策定と実施	—	A	指導主事	
(4)	情報を正確に理解し適切に表現する力の育成(話す、聞く、書く、読む)	—	A	指導主事	
(5)	学習環境の整備(教室環境・学習習慣・集団づくり・言葉遣い)	—	A	指導主事	
(6)	研修活動の充実・授業研究の推進	—	A	指導主事	
(7)	授業と連動させた宿題、家庭学習の取り組み方の指導	—	A	指導主事	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度(実績)	令和6年度(目標)
	1	全国学力・学習状況調査において、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と思っている小学校6年生、中学校3年生の割合	%	設問なし	↑
	2	CRT標準学力調査において、国語の全国平均に対する石狩市の小学5年生、中学2年生の割合	%	小5 97 中2 99	↑
【分析】					
【成果指標2】 全国水準に近付きつつある。 ・小学校：前年度比－0.4P ・中学校：前年度比＋2.7P					
【方向性】					
(2)「主体的・対話的で深い学び」からの授業改善 ・具体的な視点 ☞見通しとふり返りの重視 ☞考えを伝え合う活動の充実 ⇒目標・指導・評価の一体化を意識した授業構築について指導助言を行う。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針1	新しい社会で生きる力の育成				
施策2	特別支援教育の充実				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の活用		—	A	教育支援課
(2)	早期からの連携による教育相談の充実		—	A	教育支援課
(3)	教職員研修・講習会の充実		—	Z	教育支援課
(4)	特別支援教育支援員の養成		—	A	教育支援課
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	3	特別支援教育に関する研修受講者延べ人数 (教員、特別支援コーディネーター、支援ボランティア)	人	教員 0人 CN 0人 支援員 33人	↑
【分析】					
<p>(3)教職員研修・講習会の充実 新型コロナウイルスの感染対策により、教員・CN対象の研修は未実施 ■令和元年度の取組に対する外部評価委員意見を踏まえた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育相談員(市教委)と特別支援教育コーディネーターの連携により支援体制を構築し、様々な機会を通して教員の指導力向上を図った。 ・ 特別支援教育支援員を各学校に配置により、一般教員とは異なる視点で子どもと接することができ、個々の状況に合わせた効果的な支援を行うことができた。 					
【方向性】					
<p>(3)教職員研修・講習会の充実 令和2年度は、特別支援教育相談員等の学校巡回訪問における資料配布により対応 ☞ 次年度以降は新型コロナウイルスの感染状況等を確認しながら実施</p>					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
教育支援センターを中心に 各学校・関係機関と連携して得た知見・成果を共有し、子ども一人ひとりの思い(教育的ニーズ)に寄り添う支援のあり方を追求し一層の充実を図るよう望みます。					

【評価：AA 良くてきた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針 1	新しい社会で生きる力の育成				
施策 3	外国語教育の充実				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	ALT(外国語指導助手)による生きた外国語を学ぶ機会の充実	—	A	指導主事	
(2)	外国語授業の指導力向上のための研修等の充実	—	A	学校教育課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	4	CRT標準学力調査において、英語の全国平均に対する石狩市の中学2年生の割合	%	中2 102	↑
【分析】					
■ALT活用の効果 ・児童生徒との生きた英語によるコミュニケーション ⇒ 英語に対する興味・関心の喚起 ・人柄や親身な関わり ⇒ 児童生徒によるコミュニケーションのとりやすさ、英語スキルの向上					
【方向性】					
■ALTの体制 現行の体制を維持し、子どもたちの外国語への関心意欲を高め、コミュニケーション能力の向上を図る素地となる資質・能力の育成を目指す。 【2名⇒ 小学校7校、1名⇒ 中学校5校、1名⇒ 厚田・浜益地区3校と石狩八幡小学校】 ■新型コロナウイルス感染症への対応 新規ALTの補充(入国)が困難な場合は、関係機関と連携し代替人材の確保に努める。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針 1	新しい社会で生きる力の育成				
施策 4	理数教育の充実				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	観察・実験を重視する授業の充実	—	A	指導主事	
(2)	関係機関(道研)による移動理科教室(サイエンスカー)の活用	—	A	指導主事	
(3)	普段の生活との関わりを意識した授業の充実(理科・算数・数学)	—	B	指導主事	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	5	CRT標準学力調査において、理科の全国平均に対する石狩市の小学5年生、中学2年生の割合	%	小5 96 中2 97	↑
	6	CRT標準学力調査において、算数・数学の全国平均に対する石狩市の小学5年生、中学2年生の割合	%	小5 96 中2 102	↑
	7	全国学力・学習状況調査において、「算数(数学)の授業で学習したことは、将来、役に立つ」と思っている小学校6年生、中学校3年生の割合	%	小6 89.1 中3 75.1	↑
【分析】					
【成果指標5】 小学校：前年度比 -1P、中学校：前年度比 ±0P					
【成果指標6】 ・全国水準を安定的に保てる状況 小学校：前年度比 -1P、中学校：前年度比 -6P					
【成果指標7】 小学校では90%前後の高水準を維持。中学校では75%程度で伸び悩み。					
【方向性】					
・理数教育の充実については、 ☞ 興味・関心を高める指導の充実 … 「普段の生活との関連を意識した授業の充実」の視点 ☞ 探究の過程を重視した理数教育の充実 … 「観察・実験を重視する授業の充実」の視点 ⇒ 目標と指導と評価の一体化を意識した授業構築について指導助言を行う。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針1	新しい社会で生きる力の育成				
施策5	情報教育の充実				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	電子黒板やICT機器などの情報機器の整備	—	A	総務企画課 学校教育課	
(2)	プログラミング的思考を育む教育活動の充実	—	A	学校教育課 指導主事	
(3)	教員のICT機器活用指導力の向上を図る取組の推進	—	B	学校教育課 指導主事	
成果 指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	8	全国学力・学習状況調査において、教員が大型提示装置(電子黒板、プロジェクター)などのICTを活用した授業を1クラス当たり、ほぼ毎日行っていると回答した学校の割合	%	学校質問紙 実施せず	↑
	9	全国学力・学習状況調査において、「授業でICT機器を活用したい」と思っている小学校6年生、中学校3年生の割合	%	小6 82.8 中3 82.7	↑
【分析】					
(1) 電子黒板やICT機器などの情報機器の整備 ・全校で校務支援システムと無線LANを整備 ・名簿や通知表、指導要録作成の負担軽減のため、校務支援システムの効果的な利用を促進 【成果指標9】 ・小学校、中学校ともに80%以上⇒ 電子黒板などの情報機器の授業における活用により、児童生徒のICT機器活用の意欲が高まっていることがうかがえる。					
【方向性】					
一人一台端末が整備され、日常的にICT機器に触れる機会が飛躍的に多くなったことから、今後、以下の取組が必要 ☞ 児童生徒の機器活用能力の育成 ☞ 教職員の情報リテラシー、授業での効果的な機器活用 ☞ 緊急時の端末の持ち帰りを想定した環境整備					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
ICT機器の配備が急速に進められつつあるが、家庭環境に拘らず、すべての子どもが平等に双方向で、学ぶことのできる環境整備と適切な運用への支援の充実を望みます。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針 1	新しい社会で生きる力の育成				
施策 6	キャリア教育の充実				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	学ぶことと働くことの繋がりを意識した、学習・体験活動・職業体験の充実	—	A	学校教育課 指導主事	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	10	全国学力・学習状況調査において、「将来の夢や目標を持っている」という小学校6年生、中学校3年生の割合	%	小6 75.4 中3 73.1	↑
【分析】					
<p>■職業体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、全学校において中止。 ⇒マナー講習や職業人を招いての講話の実施など、職業体験に代わるキャリア教育を実施 					
【方向性】					
<p>これまでの取組を継続し、児童生徒が自立的に自分の未来を切り拓いていく力を身に付ける手立ての一つとして、キャリア教育があることを各学校に対し指導助言を行う。</p>					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
<p>様々な体験的活動を通して得られた気づきを、自らの思いで次に繋げることのできる機会や場がより多く常設されることを望みます。</p>					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針 1	新しい社会で生きる力の育成				
施策 7	手話を通じた学びの推進				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	学校への手話出前授業の実施	—	A	学校教育課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	11	手話講習会等を年1回以上行った学校数	%	15校	↑
【分析】					
(1)学校への手話出前授業の実施 ・市内16校(厚田学園は1校とする)のうち15校が手話授業を実施し、ろう者への理解と、手話が言語であることの理解を深めた。					
【方向性】					
☞ 全校における実施 ☞ 実施回数が増 ⇒ 手話を言語として認知する ⇒ 手話の理解の広がりを実感					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針 1	新しい社会で生きる力の育成				
施策 8	家庭教育支援の充実				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	子育て世代の包括的な支援(家庭児童相談員等の配置)	—	A	子ども相談センター	
(2)	家庭教育及び子育てに関する各種講座の開催	—	A	子ども政策課	
(3)	中学校の試験期間に合わせた小学校の家庭学習強化週間の設定	—	A	指導主事	
(4)	あい風寺子屋事業による放課後学習支援の充実	—	A	社会教育課	
(5)	放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備	—	AA	子ども政策課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	12	全国学力・学習状況調査において、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら伝えていると回答した学校の割合	%	学校質問紙 実施せず	↑
	13	全国学力・学習状況調査において、学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり「1時間以上」勉強(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)している小学校6年生、中学校3年生の割合	%	小6 64.1 中3 79.1	↑
	14	放課後児童クラブ及び放課後子ども教室等の一体的又は連携による実施箇所数	箇所	5	↑
【分析】					
(4)あい風寺子屋事業による放課後学習支援の充実 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため回数減少 ・後半は密にならないよう内容を工夫し実施 (5)放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備 ・児童数やニーズに応じた開設準備及び廃止等を計画的に推進 【成果指標13】 小学校：前年度比+2.9P、中学校：前年度比+22.5P ⇒新型コロナウイルス感染症対応による一斉臨時休業による結果と考察					
【方向性】					
☑各学校において家庭学習の習慣化に向けて取り組みがなされていることから、学校訪問の際に 取組状況を把握し、課題解決や一層の取組の推進に向けての指導助言を継続する。					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
子育てに悩む親へのサポート体制を関係者と専門家との連携による一層の充実を望みます。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針2	学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進				
施策9	学びのセーフティネットの構築				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	就学援助などによる経済的支援	—	A	学校教育課	
(2)	教育(スクールソーシャルワーカー)と福祉(家庭生活支援員)による総合的な支援	—	A	教育支援課	
(3)	補充(放課後)学習の充実	—	A	学校教育課	
(4)	生活困窮等を要因とした、学習面での支援ニーズへの対応	—	A	福祉総務課 教育支援課	
(5)	地域団体による子どもの居場所づくりの支援(学習支援・食事支援等)	—	A	子ども政策課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	15	スクールソーシャルワーカー(SSW)が行った相談の延べ件数と家庭生活支援員が行った学習支援・家庭生活支援の延べ件数	件	SSW 516 支援員 911	↑
【分析】					
(1) 就学援助などによる経済的支援 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、離職・失業等により経済環境の激変があった世帯に対して、失業者の前年収入を0円とみなして収入判定を行う等の臨時的な対応を行った。 (2) 教育(スクールソーシャルワーカー)と福祉(家庭生活支援員)による総合的な支援 ・不登校、いじめ、児童虐待、問題行動など児童生徒や保護者の悩みや困りごとの解消に向け、学校とともにスクールソーシャルワーカーが関係機関と連携を図り、効果的な支援を行うことができた。					
【方向性】					
(1) 就学援助などによる経済的支援 ☞ 今後も経済状況を勘案し、適切な対応を進める。					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
生活困窮世帯を含む様々な家庭の子どもへの支援の一層の充実を望みます。 石狩市のスクールソーシャルワーカー事業の成果を市内外に広めていかれることを期待します。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針2	学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進				
施策10	学校を核とした地域づくり				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	地域学校協働活動の推進	—	A	社会教育課	
(2)	コミュニティ・スクール(学校運営協議会)導入による地域一体の学校運営	—	A	総務企画課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度(実績)	令和6年度(目標)
	16	全国学力・学習状況調査において、地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの保護者や地域との協働による活動を「よく行っている」と感じている学校の割合	%	学校質問紙実施せず	↑
	17	全国学力・学習状況調査において、今住んでいる地域の行事に参加している小学校6年生、中学校3年生の割合	%	小 57.8 中 34.3	↑
【分析】					
<p>(1) 地域学校協働活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部対象校の新設(石狩八幡小)により、学校と地域が連携・協働して、教育環境の充実を目指す体制づくりが進んだ <p>(2) コミュニティスクール導入による地域一帯の学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石狩八幡小学校、厚田学園の開校を機に学校運営協議会を先行して設置した 					
【方向性】					
<ul style="list-style-type: none"> ☞ 地域コーディネーターを中心とした学校支援活動や環境整備を継続して推進 ☞ 市内全学校への学校運営協議会設置を推進 					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
<p>「地域とともに歩む学校」が着実に推進されていると評価します。また、子どもにとって魅力ある学校、保護者・地域の共感と協力を得られる教育活動の推進がより成果を収めるために、働き方改革を踏まえ、教職員が一体となって挑戦できる条件整備を図り、充実されることを望みます。学校支援地域本部事業を中心として、地域全体で子どもを育てていくという意識が一層醸成されるシステムづくりを期待します。</p>					

【評価：AA 良くてきた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針3	学びをつなぐ学校づくり				
施策11	開かれた学校づくりの推進				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	学校ホームページの充実	—	A	学校教育課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
【分析】					
(1) 学校ホームページの充実 ・保護者、地域等への適時・適確な情報発信ができた 【参考】各学校のホームページ更新率(更新回数/登校日): 平均 70パーセント					
【方向性】					
(1) 学校ホームページの充実 ☞ 「開かれた学校」を推進するため、定期的な更新と適時・適確な情報発信を継続					

【評価：AA 良くてきた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針3	学びをつなぐ学校づくり				
施策12	学校施設・設備の整備・充実				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	学校施設長寿命化計画の策定	—	A	総務企画課	
(2)	トイレの洋式化	—	A	総務企画課	
(3)	教材教具設備・備品の整備	—	A	学校教育課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	18	学校トイレ洋式化の割合	%	小 91.7 中 78.9	↑
【分析】					
(1) 学校施設長寿命化計画の策定 ・建築後30年以上が経過し、老朽化が進んでいる学校施設の点検を行い、現状を把握するとともに、中長期的な視点に立って学校施設の維持管理等に係るコストの縮減及び平準化を図ることを目的に長寿命化計画を策定した。 (2) トイレの洋式化 ・洋式化率90%：3校(花川南小、紅南小、浜益小) ・洋式化率80%：7校(生振小、南線小、緑苑台小、双葉小、石狩中、花川中、花川北中) ※上記以外の学校は100%、全校での洋式化率:86%					
【方向性】					
(2) トイレの洋式化 ☞ 洋式化率100%に向けて、改修を進めていく					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針3	学びをつなぐ学校づくり				
施策13	安全な学校づくりを目指した環境の整備				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	危機管理マニュアルの整備、適切な運用と訓練の実施		—	A	総務企画課
(2)	情報セキュリティマニュアルの適正な運用及び教職員研修の実施		—	A	学校教育課
(3)	通学路交通安全プログラムに基づく、点検・対策の実施		—	B	総務企画課
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	19	学校の防犯カメラ設置状況	台	小 7校 中 5校	全校に設置
【分析】					
(3)通学路交通安全プログラムに基づく、点検・対策の実施 ・各学校より要望のあった33箇所の内、花川南地域13箇所の点検・対策を実施					
【方向性】					
(3)通学路交通安全プログラムに基づく、点検・対策の実施 ☞ 点検未実施の20箇所を次年度以降に実施					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
学校、地域、市教委、関係機関が一体となりながら、子どもたちを見守るシステムやこども110番事業のさらなる充実を望みます。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針3	学びをつなぐ学校づくり				
施策14	学びの段階間の連携・接続の推進				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	認定こども園などへの情報提供	—	A	教育支援課	
(2)	保護者の幼児教育・保育等の選択の支援(子育てコンシェルジュの配置)	—	AA	子ども政策課	
(3)	保育士等の処遇改善と確保対策	—	A	子ども家庭課	
(4)	スタートカリキュラムの実施にかかる、幼保小の連携	—	A	指導主事	
(5)	中一ギャップの解消を目指した小中の連携	—	A	指導主事	
(6)	生活、学習規律、家庭学習時間等の小中でのスタンダード化	—	A	指導主事	
(7)	校内研修への、学校間の相互参加		A	指導主事	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度(実績)	令和6年度(目標)
	20	全国学力・学習状況調査において、近隣の中学校(小学校)と、教育課程に関する情報交換を「よく行った」と思っている学校の割合	%	学校質問紙実施せず	↑
【分析】					
(2) 保護者の幼児教育・保育等の選択の支援 ・コンシェルジュが保護者のニーズの把握に努め、悩みに寄り添い、アドバイスや情報提供、関係機関へのつなぎなど適切な支援を行うことができた。					
(3) 保育士等の処遇改善と確保対策 ・施設型給付費に係る処遇改善等加算の適用による処遇改善(市内全園) ・市内の認定こども園等に就職した者に「就職奨励金」を交付し、保育士の確保に努めた					
【方向性】					
(4) スタートカリキュラムの実施にかかる、幼保小の連携 ☞切れ目のない幼保小の連携を図りつつ、小1プロブレム解消につながるスタートカリキュラムについて、幼保小の教諭がその意義を明確にし、見直しを図るよう指導助言を行う。					
(5) 中一ギャップの解消を目指した小中の連携 ☞出前授業の実施、小中スタンダードの策定や系統性を踏まえた教科等の接続など、学びの連続性に係る取組の強化について指導助言を行う。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針3	学びをつなぐ学校づくり				
施策15	学校運営の改善				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	指導主事による学校訪問、学校ヒアリングの充実	—	A	指導主事	
(2)	学校における働き方改革推進計画の実施	—	A	学校教育課	
(3)	働き方改革に関する視点を盛り込んだ「学校経営方針」や「重点目標」の設定	—	A	学校教育課	
(4)	働き方改革の実現に向けた環境整備		A	学校教育課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	21	一月当たりの時間外勤務時間が45時間を超える教員の割合	%	25.8	↓
		※令和元年度実績は未集計。令和2年から集計を開始し、令和2年度の実績値よりも割合を下げるという指標とする。			
【分析】					
(2) 学校における働き方改革推進計画の実施、(4) 働き方改革の実現に向けた環境整備 ・令和2年度から、ICカード・カードリーダーを用いた出退勤時間の管理を実施し、客観的な勤務時間の把握を実施					
【方向性】					
(2) 学校における働き方改革推進計画の実施、(4) 働き方改革の実現に向けた環境整備 ☞ 客観的な勤務時間の把握と情報の共有を進め、一月当たりの時間外勤務時間が45時間を超える教職員の割合の逡減化を図り、教職員の負担軽減を進める。					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
「地域とともに歩む学校」が着実に推進されていると評価します。また、子どもにとって魅力ある学校、保護者・地域の共感と協力を得られる教育活動の推進がより成果を収めるために、働き方改革を踏まえ、教職員が一体となって挑戦できる条件整備を図り、充実されることを望みます。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標 I	自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる				
方針3	学びをつなぐ学校づくり				
施策16	学校安全教育の充実				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	防犯教室・防犯訓練の実施	—	A	教育支援課	
(2)	交通安全教室・自転車乗車マナー教室の実施	—	A	教育支援課	
(3)	災害に応じた避難訓練の実施	—	A	総務企画課	
(4)	学校・地域・家庭での「あいさつ運動」の実施	—	A	社会教育課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
【分析】					
(4) 学校・地域・家庭での「あいさつ運動」の実施 ・新型コロナウイルス感染症が拡大したため、学校支援地域本部事業におけるボランティアの関わりが減少したが、事業の中ではしっかりと「あいさつ運動」の取組をした。					
【方向性】					
(1) 防犯教室・防犯訓練の実施 ☞ 学校支援地域本部事業において、地域ボランティアが子どもたちと関わるのが、地域の防犯につながると考え、今後も事業を推進する。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標Ⅱ	思いやりと豊かな心・健やかな体をもって、多様な人々と共に支え合う人を育てる				
方針4	健やかな成長を促す取組の推進				
施策17	道徳教育の充実				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	「道徳科」を基軸とした豊かな心の育成		—	A	学校教育課
(2)	保護者への「考え、議論する道徳科授業」の公開		—	Z	指導主事
(3)	他者を思いやる心の育成		—	A	指導主事
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	22	全国学力・学習状況調査において、「自己肯定感や自尊感情が高い」と感じている小学校6年生、中学校3年生の割合	%	小6 70.5 中3 73.1	↑
【分析】					
(2)保護者への「考え、議論する道徳科授業」の公開 <ul style="list-style-type: none"> ・すべての学校が「考え議論する道徳の授業」の推進に努めた ・新型コロナウイルス感染症の影響により多くの学校において「道徳科授業の公開」が未実施 					
【方向性】					
(2)保護者への「考え、議論する道徳科授業」の公開 ☞ 新型コロナウイルスの感染状況を考慮しつつ、地域住民や保護者へ「道徳科授業」を積極的に公開し、道徳教育への理解と協力を得る契機とするよう、学校へ指導助言していく。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標Ⅱ	思いやりと豊かな心・健やかな体をもって、多様な人々と共に支え合う人を育てる				
方針4	健やかな成長を促す取組の推進				
施策18	読書活動の推進				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	学校独自の取組を支援	—	A	市民図書館	
(2)	調べる学習コンクールの活用	—	A	市民図書館	
(3)	ブックスタート、家読(うちどく)の充実	—	A	市民図書館	
(4)	授業での市民図書館、学校図書館、学校司書の活用	—	A	市民図書館	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	23	全国学力・学習状況調査において、学校の授業以外で、普段(月～金曜日)、1日当たり「10分以上」読書(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)をしている小学校6年生、中学校3年生の割合	%	小 52.1 中 40.9	↑
【分析】					
(3) ブックスタート、家読の充実 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアによる読み聞かせ活動が未実施 ⇒ 未就学児向けの絵本を紹介するブックリストの配布を実施 (4) 授業での市民図書館、学校図書館、学校司書の活用 ・学校司書を通じて、学校図書館における蔵書の充実や読書活動の活性化につながる情報交換などを実施					
【方向性】					
(3) ブックスタート、家読の充実 ☞ ブックリストの配布などを通じた「本に触れるきっかけづくり」の推進 (4) 授業での市民図書館、学校図書館、学校司書の活用 ☞ 各校と情報共有しながら計画的な学校図書館整備を推進					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
学校司書を通じて、学校と連携を取りながら子どもの読書離れの対応策の一層の検討を望みます。					

【評価：AA 良くてきた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標Ⅱ	思いやりと豊かな心・健やかな体をもって、多様な人々と共に支え合う人を育てる				
方針4	健やかな成長を促す取組の推進				
施策19	体験活動の推進				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	奨励プログラムの活用(環境・人権・平和・国際理解)	—	A	学校教育課	
(2)	地域の様々な人々との交流や社会体験等の充実	—	A	社会教育課	
(3)	児童館を拠点とする、子どもたちが主体的に取り組む体験活動の充実(農村体験、けん玉チャレンジなど)	—	Z	子ども政策課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
【分析】					
(2) 地域の様々な人々との交流や社会体験等の充実 ・あい風寺子屋教室は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため回数減少 (3) 児童館を拠点とする、子どもたちが主体的に取り組む体験活動の充実 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、体験活動が未実施					
【方向性】					
(3) 児童館を拠点とする、子どもたちが主体的に取り組む体験活動の充実 ☞ 学校支援地域本部事業(あい風寺子屋教室)を活用し、地域の方の経験や特技等を子どもたちに伝える取り組みを推進					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標Ⅱ	思いやりと豊かな心・健やかな体をもって、多様な人々と共に支え合う人を育てる				
方針4	健やかな成長を促す取組の推進				
施策20	コミュニケーション能力の育成				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	実験レポートの作成や、立場や根拠を明確にして議論することなどの充実(小中:総則、各教科等)	—	A	指導主事	
(2)	パートナースクールや小中間交流の効果的な活用	—	A	指導主事	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	24	全国学力・学習状況調査において、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と感じている小学校6年生、中学校3年生の割合	%	小6 71.8 中3 76.6	↑
【分析】					
【成果指標24】 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善が進んでいる。 小学校：前年度比 -1.6P 中学校：前年度比 +6.2P					
【方向性】					
☞新型コロナウイルス感染症により「話し合う活動」が制限されている状況にあるが、1人1台端末やICT機器を活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進に向けて学校訪問等を通して指導主事から指導・助言する。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標Ⅱ	思いやりと豊かな心・健やかな体をもって、多様な人々と共に支え合う人を育てる				
方針4	健やかな成長を促す取組の推進				
施策21	いじめの防止や不登校児童生徒への支援の取組の充実				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	小中連携した「いじめ防止集会」の実施	—	A	教育支援課	
(2)	SNS等の適切な利用についての指導	—	A	教育支援課	
(3)	いじめ等の問題行動や不登校の未然防止及び早期発見・即時対応	—	A	教育支援課	
(4)	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用	—	A	教育支援課	
(5)	教育支援教室「ふらっとくらぶ」の活用	—	A	教育支援課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	25	全国学力・学習状況調査において、「いじめはどんなことがあってもいけないことだ」と思っている小学校6年生、中学校3年生の割合	%	小 97.8 中 94.6	全ての児童生徒が「思う」ことを目指す
	26	不登校児童生徒のうち、学校復帰やふらっとくらぶ、フリースクールなどにつなげられた割合 ※令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査及び道教委調査	%	小 42.9 中 40.3	↑
【分析】					
<p>(4) スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用</p> <p>・本市のスクールソーシャルワーカー事業に関し、スクールソーシャルワーカーが大学との繋がりから外部講師として招かれ本市の事業について講義を行い、また、スクールソーシャルワーカー演習として毎年複数の大学の実習生を受けれているなど、大学における教育面の支援を担っている。引続き事業成果の対外的な発信について努めていく。</p>					
【方向性】					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
<p>石狩市のスクールソーシャルワーカー事業の成果を市内外に広めていかれることを期待します。不登校になりがちな児童生徒への学習権を保障する手立ての工夫など方向性に沿った支援の充実を望みます。</p>					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標Ⅱ	思いやりと豊かな心・健やかな体をもって、多様な人々と共に支え合う人を育てる				
方針4	健やかな成長を促す取組の推進				
施策22	体力・運動能力の向上				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	1校1プラン(体力)に基づく体力の育成	—	A	指導主事	
(2)	新体力テストの活用	—	A	指導主事	
(3)	放課後の運動奨励、部活動指導の充実(外部指導者の活用など)	—	A	学校教育課	
(4)	レクリエーション活動の推進	—	Z	総務企画課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度(実績)	令和6年度(目標)
	27	全国体力・運動能力、運動習慣等調査*において、体力合計点の全国平均値を50.0とした場合の小学校5年生、中学校2年生の値	-	中止のため全国平均値なし	↑
【分析】					
(2) 新体力テストの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、全国体力・運動能力、運動習慣等調査は未実施 ・体力テストは、感染状況を踏まえ、感染症対策を徹底した上で適切な時期に実施するよう指導 					
(4) レクリエーション活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツまつりは、新型コロナウイルス感染症の影響で中止 					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
体力1校1プランなどを通して、身体を動かすことの経験のより一層の充実を望みます。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標Ⅱ	思いやりと豊かな心・健やかな体をもって、多様な人々と共に支え合う人を育てる				
方針4	健やかな成長を促す取組の推進				
施策23	健康・食育の推進				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	関係機関と連携した健康教育の充実(心肺蘇生講習(AED)、薬物乱用防止、がん教育など)	—	A	教育支援課 学校教育課	
(2)	「いしかりふれあいDAY」「生活リズムチェックシート」の活用(スマートフォン等の使用時間、食事摂取、睡眠時間など)	—	A	社会教育課	
(3)	学校給食「いしかりウィーク」の開催	—	A	学校給食センター	
(4)	「アレルギー明示献立」の配付、食物アレルギー対応給食の提供を継続	—	A	学校給食センター	
(5)	栄養教諭を中心とした「食に関する指導」の実施	—	A	学校給食センター	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	28	全国学力・学習状況調査において、毎日、同じくらいの時刻に寝ている小学校6年生、中学校3年生の割合	%	小 79.4 中 77.9	↑
	29	全国学力・学習状況調査において、朝食を毎日食べている小学校6年生、中学校3年生の割合	%	小 90.5 中 89.8	↑
	30	学校給食における、米及び主要な野菜の全使用量のうち石狩産食材の割合	%	55.4	↑
【分析】					
【方向性】					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標Ⅲ	ふるさとへの愛着をもち、幅広い視野で新しい価値を創造し、活躍する人を育てる				
方針5	学びを活かす地域社会の実現				
施策24	生涯学習の振興				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	「いしかり市民カレッジ」「石狩シニアプラザはまなす学園」などの推進・支援	—	A	公民館	
(2)	公民館講座等の充実	—	A	公民館	
(3)	社会教育主事・社会教育支援スタッフの確保と育成	—	A	社会教育課	
(4)	社会教育関係団体への専門的な指導・助言	—	A	社会教育課	
(5)	社会教育施設等の整備と施設の特性を活かした有効的な活用	—	A	社会教育課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	31	市教委や社会教育団体が行った市民向け講座等の開催数	回	796	↑
	32	社会教育主事、生涯学習アドバイザー、地域コーディネーターの人数	人	6	↑
【分析】					
(1) 「いしかり市民カレッジ」「石狩シニアプラザはまなす学園」などの推進・支援 ・新型コロナウイルス感染症の影響により「いしかり市民カレッジ」等の講座開催数は減少 (2) 公民館講座等の充実 ・家で過ごす時間を有意義にするため、プラモデル講座(公民館講座)を実施 ・市が保有する過去の映像をデジタル化し、You Tube動画として公開する 「石狩映像アーカイブ配信事業」を実施し、歴史の移り変わりや魅力を効果的に伝え、郷土愛を高めることに寄与した。					
【方向性】					
(2) 公民館講座等の充実 ☞ 新型コロナウイルス感染対策を徹底した上で、講座等を充実させる (3) 社会教育主事・社会教育支援スタッフの確保と育成 ☞ 公民館講座等の実施を通じて社会教育主事の資質向上を目指す					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
市民の多様化する学習ニーズを統合して生涯学習へと組織化するために、専門的スキルを有する人材を育成し、活動を支援する体制を充実させることを望みます。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標Ⅲ	ふるさとへの愛着をもち、幅広い視野で新しい価値を創造し、活躍する人を育てる				
方針5	学びを活かす地域社会の実現				
施策25	芸術文化活動の推進				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	ロビーコンサートなどのイベントの継続	—	A	社会教育課	
(2)	俳句のまち～いしかり～こども俳句コンテストの継続と「俳句ガイド」の活用	—	A	社会教育課	
(3)	市民文化祭開催の支援	—	A	社会教育課	
(4)	芸術文化活動への支援	—	A	社会教育課	
(5)	各種コンクール・検定等への応募の奨励	—	A	社会教育課	
(6)	「情操教育プログラム」の開催(あい風コンサート・The music など)	—	A	社会教育課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度(実績)	令和6年度(目標)
	33	市教委が実施する体験活動の回数(情操教育プログラムなど)	回	6	↑
【分析】					
(1) ロビーコンサートなどのイベントの継続 新型コロナウイルス感染症の影響により、ロビーコンサート等一部の行事が中止 ⇒ 市民文化祭舞台部門の映像制作を実施 ⇒ 親子参加型事業でアフリカンドラムの鑑賞を行う「AFRICAN DAY in 石狩」を実施 (4) 芸術文化活動への支援 ⇒ コロナ禍の演奏家を支援するため、「今野くる美ピアノミニリサイタル」開催を支援					
【方向性】					
☞ 新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、開催方法を工夫しながら文化振興事業を実施していく。					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
支援対象の拡大など、幅広い市民が参画できる芸術文化活動の振興を望みます。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標Ⅲ	ふるさとへの愛着をもち、幅広い視野で新しい価値を創造し、活躍する人を育てる				
方針5	学びを活かす地域社会の実現				
施策26	図書館サービスの充実				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	司書研修等によるレファレンスサービス(調べもの相談)の充実	—	A	市民図書館	
(2)	ボランティアによるおはなし会、DVD上映会	—	A	市民図書館	
(3)	図書館まつり、科学の祭典などのイベントの充実	—	A	市民図書館	
(4)	新刊図書の購入や適切な除籍による蔵書の充実	—	A	市民図書館	
(5)	地域の歴史や情報を伝える資料の収集・提供	—	A	市民図書館	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度(実績)	令和6年度(目標)
	34	市民図書館(本館)の入館者数	人	127,726	↑
	35	司書研修等を行った回数	回	6	↑
	36	ボランティアなどによるイベントの開催数	回	59	↑
【分析】					
(1)~(3) ・ボランティア等による定例の「おはなし会」⇒ 一部中止 ・図書館を賑わいの拠点とするイベント⇒ 一部中止 ☞ Webでイベントを開催し、できる範囲で子どもたちに読書の楽しさを伝えた。 (5) 地域の歴史や情報を伝える資料の収集・提供 地域資料の受入れを積極的に行い、歴史の継承及び地元の動きを情報発信した					
【方向性】					
☞ 市民協働による取組を推進 ☞ 多くの市民の学びや交流の拠点となるべく、事業を積極的にPR ☞ 地域資料の継続的な収集、保存、提供に加え、特集展示の開催等により資料のPRに努める					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
引き続き、図書館の新たな役割を模索し、取り組みの活性化とともに、利用者数の増加を期待します。また、利用者の興味関心を引出す蔵書や資料の展示方法の工夫・充実を望みます。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標Ⅲ	ふるさとへの愛着をもち、幅広い視野で新しい価値を創造し、活躍する人を育てる				
方針6	ふるさとを学ぶ機会の充実				
施策27	ふるさとを学ぶ機会の充実				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	総合的な学習の時間の活用	—	A	学校教育課	
(2)	テーマ展、体験講座、野外講座などの開催	—	A	文化財課	
(3)	市民図書館や海浜植物保護センターなどと連携した講座や展示による学習機会の提供	—	A	文化財課	
(4)	資料館や道の駅の情報コーナーを活用した情報発信の充実	—	A	文化財課	
(5)	地域情報誌や石狩ファイルのホームページ公開等による情報発信の充実	—	A	文化財課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
	37	ふるさと学習に関する講座等の開催数	回	4	↑
	38	資料館の延べ入館者数	人	1,643	↑
【分析】					
(2) テーマ展、体験講座、野外講座などの開催 新型コロナウイルス感染症の影響により教育、研究、活動支援などの活動が大きく制約 ⇒ 感染症対策などを講じて、計画通り3回のテーマ展、収蔵品展や体験講座を実施した					
【方向性】					
☞ 感染対策を徹底するとともに、開催方法を工夫するなどしてイベント等を開催するほか、様々な媒体を活用した情報発信を継続する。					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
様々な方策で、実物が身近に感じられる展示の工夫を望みます。					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

目標Ⅲ	ふるさとへの愛着をもち、幅広い視野で新しい価値を創造し、活躍する人を育てる				
方針6	ふるさとを学ぶ機会の充実				
施策28	文化・自然遺産の保護・保存・活用の推進				
【取組】			【評価】		所管
			前年度	今年度	
(1)	市内の特徴的な文化財の調査・把握	—	A	文化財課	
(2)	歴史的価値のある文化資料の修復・公開	—	A	文化財課	
(3)	自然標本の収集、標本製作と資料館等での公開	—	A	文化財課	
(4)	文化財、標本等の整理と保存環境の充実	—	A	文化財課	
(5)	歴史、文化、自然についての研究活動の充実	—	A	文化財課	
(6)	紀要等による研究成果の公表	—	A	文化財課	
(7)	郷土研究会等の市民による調査研究活動への支援	—	A	文化財課	
(8)	石狩小学校校舎を郷土資料館として利活用するための検討	—	A	文化財課	
成果指標	No.	指標の名称	単位	令和2年度 (実績)	令和6年度 (目標)
【分析】					
<p>☞ 市内の自然、文化財の調査と研究を進め、その成果を研究紀要として刊行</p> <p>☞ 新型コロナウイルス感染症に対応した博物館活動、文化財保護活用状況のあり方を考えることが求められた。</p>					
【方向性】					
石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(令和元年度の取組に対する意見)					
<p>これまでの成果にも敬意を表しつつ、60周年を迎える郷土研究会の一層の発展を望みます。文化財が収集され価値が見出され保護・保存されることは大変喜ばしいことです。今後さらに、官民連携協力によって系統的に整備され人々の学習に供されることを望みます。</p>					

【評価：AA 良くできた。A できた。B できなかった。Z 評価不可。】

令和3年7月 日

市立学校長 様

石狩市教育委員会

教育長 佐々木 隆哉

校則の積極的な見直しについて（通知）

このことについては、既に令和元年12月5日付け教生学第752号「校則の積極的な見直しについて（通知）」及び令和3年6月11日付け教生学第225号「校則の見直しに等に関する取組事例について（通知）」を送付しておりますが、これらに添付されている通知及び事務連絡の中でも、校則の積極的な見直しや見直しの際の児童生徒の関わりについて指摘されているところです。

ついでにはこの度、校則の見直しについての石狩市教育委員会としての基本的な考え方を下記のとおり取りまとめましたので、これらを踏まえ、改めて自校の校則について積極的な見直しを行うようお願いいたします。

なお、本通知でいう「校則」とは、学校が教育目的を達成するため、児童生徒が守らなければならないとされる学習上、生活上の行動統一基準を指すものであり、「校則」の他にも「生活のきまり」「職員申し合わせ事項」「共通指導事項」などが含まれることに留意願います。

記

1 定期的な見直しについて

校則は、社会規範の遵守について、適切な指導を行うための指針であり、学校が教育目的を達成するために、必要かつ合理的な範囲内において、適切に定められるべきものであることから、社会情勢の変化が大きい現代においては、定期的にその内容を見直す機会を設けることが求められる。

2 見直し手順の明文化と児童生徒・保護者の参画について

校則の見直しに当たっては、その時期及び手順を明文化するとともに、その中に児童生徒が主体的に校則について考える機会を設けたり、保護者の意見を聴取したりするなどして、その必要性の共通理解を図ることが重要である。同様の趣旨から、見直しの結果が、児童生徒や保護者の意見と相違する結果となった場合は、その理由を明らかにする。（別添見直しの手順例参照）

3 保護者・地域への周知について

校則並びにその見直しの時期及び手順は、学校ホームページに掲載し、保護者及び地域への周知を図る。また、校則を見直した場合は、その内容を速やかに保護者に周知する。

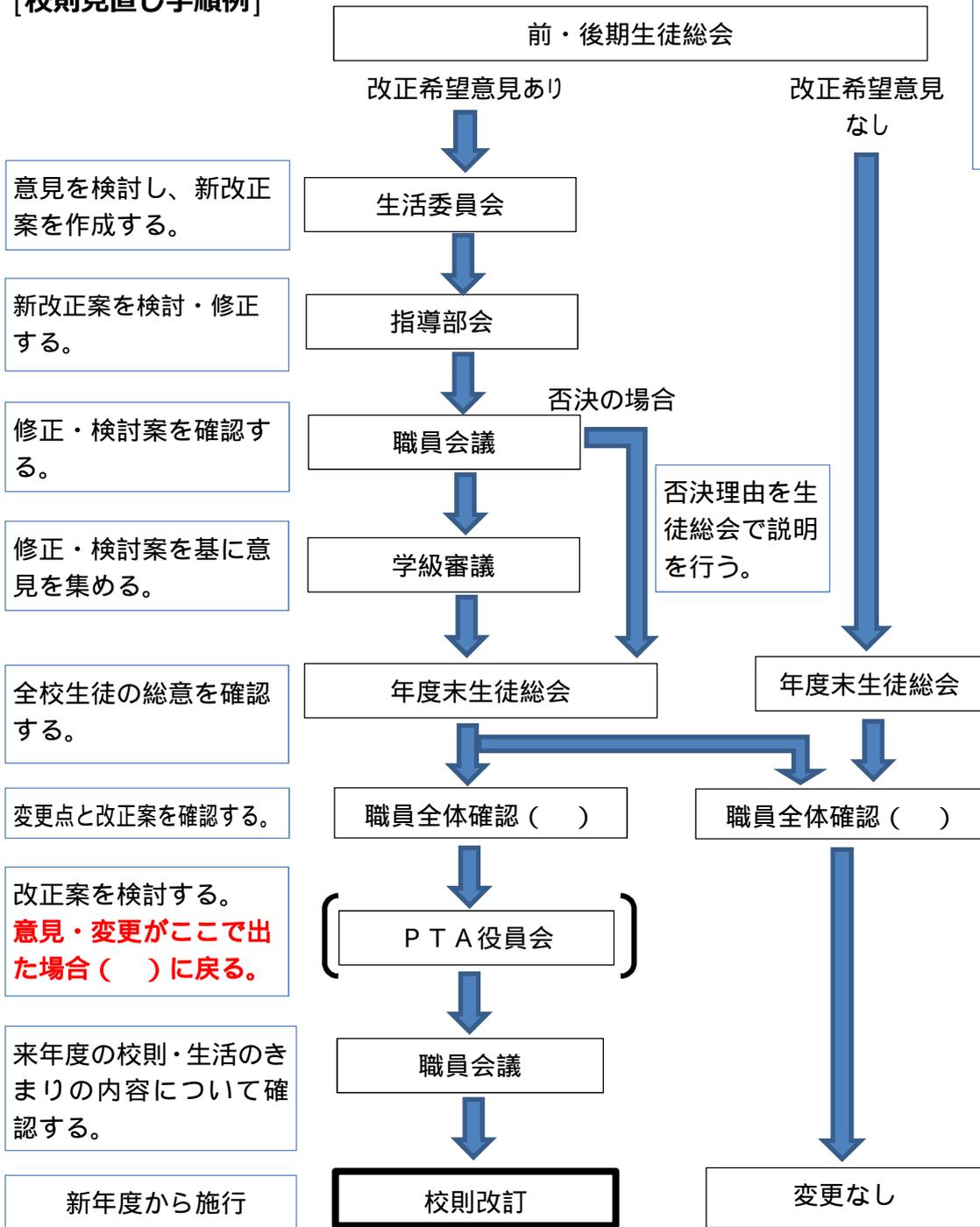
4 児童生徒・保護者への説明について

児童生徒や保護者から校則の内容に関する説明を求められたときは、学校として、誠実に応答するようにすること。

以上

[校則見直し手順例]

校則や生活の約束について質問意見を募る。意見・質問はその都度、生活委員会へ上げる。



意見を検討し、新改正案を作成する。

新改正案を検討・修正する。

修正・検討案を確認する。

修正・検討案を基に意見を集める。

全校生徒の総意を確認する。

変更点と改正案を確認する。

改正案を検討する。
意見・変更がここで出た場合 () に戻る。

来年度の校則・生活のきまりの内容について確認する。

新年度から施行

・制服変更や大幅な校則改訂など保護者の負担に関わる改訂内容は必ず PTA 役員会で確認を行う。PTA 役員会を通さない改定案については、懇談会や説明会で随時保護者へ伝える。

・新入生準備に関わる改訂内容がある場合は職員会議での検討時期を早め、入学説明会の中で事前に伝えられるようにする。

